

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名		子どもがのびのび心豊かに育つまち		施策番号・名		08 乳幼児の健全発育への支援		基本事業番号・名		08-03 相談サービスの充実		改革・改善の余地		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)				
事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)	対象指標(対象の数値指標化)		活動指標(手段の数値指標化)		成果指標(意図したことの結果の数値指標化)		事業費(実績額)	人件費(理論値)	トータルコスト	改革・改善の余地(目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた平成23年度以降に向けた事務事業の方向性(所管課長記入欄)				
	事務事業名		指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)	指標	実績値(単位)				①(千円)	②(千円)	①+②(千円)	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
08-03-01	健康課 保健サービス係	対象	育児不安を抱える乳幼児の親とその家族	平成21年度	138(人)	平成21年度	138(人)	平成21年度	100(%)	477	656	1,133	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	育児相談事業	手段	場所及び回数：わくわく健康プラザ(8回)、中央公民館(2回) 時間：9:30~14:00(予約制) 内容：計測及び個別相談(保育・栄養・母乳・歯科)	平成20年度	114(人)	平成20年度	114(人)	平成20年度	100(%)	407	989	1,396	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	妊娠、出産、育児の悩みや不安を気軽に相談できる。妊婦の出産経過及び乳幼児の成長、発達上の問題点等の早期発見ができ、より専門的な事業へ結びつけることができる。	平成19年度	134(人)	平成19年度	134(人)	平成19年度	100(%)	477	1,266	1,743	説明(選択理由)	現状維持	説明(選択理由)	説明(選択理由)	説明(選択理由)	
		対象	就学前の児とその保護者	平成21年度	655(人)	平成21年度	593(人)	平成21年度	90(%)	1,964	2,785	4,749	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
08-03-02	健康課 保健サービス係	対象	就学前の児とその保護者	平成21年度	655(人)	平成21年度	593(人)	平成21年度	90(%)	1,964	2,785	4,749	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	乳幼児経過観察健診心理相談(個別・集団)事業	手段	心理相談(個別)：年24回 グループ(集団)：3学期制、年20回	平成20年度	687(人)	平成20年度	610(人)	平成20年度	89(%)	2,230	2,788	5,018	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	乳幼児健診や個別相談で発達・心理面で経過観察が必要とされた児への支援。また、グループ指導を通して発達を促し、保護者の育児支援を行う。必要時、療育機関に繋ぐ。	平成19年度	319(人)	平成19年度	271(人)	平成19年度	85(%)	2,461	2,741	5,202	説明(選択理由)	現状維持	説明(選択理由)	説明(選択理由)	説明(選択理由)	
		対象	妊婦訪問：全ての妊婦。特に、若年及び高齢初産婦、未婚、双胎、慢性疾患、精神疾患があるハイリスク妊婦。	平成21年度	①181②970(件)	平成21年度	①46②933(件)	平成21年度	①25.4②96.2(%)	4,134	727	4,861	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
08-03-03	健康課 保健サービス係	対象	妊婦訪問：全ての妊婦。特に、若年及び高齢初産婦、未婚、双胎、慢性疾患、精神疾患があるハイリスク妊婦。	平成21年度	①181②970(件)	平成21年度	①46②933(件)	平成21年度	①25.4②96.2(%)	4,134	727	4,861	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	妊婦訪問・新生児訪問事業	手段	地区担当保健師、または訪問指導員(助産師)による訪問	平成20年度	①164②973(件)	平成20年度	①52②867(件)	平成20年度	①31.7②89.1(%)	4,028	356	4,384	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	妊婦訪問：若年・高年初産婦及び未婚・多胎などのハイリスク妊婦の不安軽減及び育児支援をする。新生児訪問：安心して子育てができ、児が健やかに成長するよう支援する。	平成19年度	①128②688(件)	平成19年度	①48②655(件)	平成19年度	①40②95(%)	3,810	473	4,283	説明(選択理由)	現状維持	説明(選択理由)	説明(選択理由)	説明(選択理由)	
		対象	家庭訪問、面接、電話相談を希望した妊産婦及び乳幼児の保護者(保健師地区活動でフォローが必要とされた者も含む)	平成21年度	3,226(人)	平成21年度	3,226(人)	平成21年度	100(%)	942	5,812	6,754	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
08-03-04	健康課 保健サービス係	対象	家庭訪問、面接、電話相談を希望した妊産婦及び乳幼児の保護者(保健師地区活動でフォローが必要とされた者も含む)	平成21年度	3,226(人)	平成21年度	3,226(人)	平成21年度	100(%)	942	5,812	6,754	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	母子保健事業に係る家庭訪問・面接電話相談事業	手段	常勤保健師による家庭訪問、面接、電話相談	平成20年度	3,207(人)	平成20年度	3,207(人)	平成20年度	100(%)	1,297	5,438	6,735	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	個別に相談を受けることにより、課題解決、不安や心配の軽減を図り、必要に応じて適切な相談機関等につながる。	平成19年度	3,362(人)	平成19年度	3,362(人)	平成19年度	100(%)	2,632	4,969	7,601	説明(選択理由)	現状維持	説明(選択理由)	説明(選択理由)	説明(選択理由)	
		対象	①離乳食：6~12ヶ月の乳児、育児者 ②1~2歳幼児食：幼児、育児者 ③3~未就学児幼児食：幼児、育児者	平成21年度	450(人)	平成21年度	362(人)	平成21年度	80(%)	1,424	706	2,130	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
08-03-05	健康課 保健サービス係	対象	①離乳食：6~12ヶ月の乳児、育児者 ②1~2歳幼児食：幼児、育児者 ③3~未就学児幼児食：幼児、育児者	平成21年度	450(人)	平成21年度	362(人)	平成21年度	80(%)	1,424	706	2,130	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	離乳食・幼児食教室事業	手段	①離乳食の進め方、ポイント⇒調理実習、親/乳児試食 ②野菜を使ったレシピのデモ⇒親子で試食 ③野菜をつかって食育⇒親子で実習・試食	平成20年度	299(人)	平成20年度	212(人)	平成20年度	71(%)	1,235	519	1,754	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	・離乳食を始める大切さを知り、野菜料理のレパートリーを増やすきっかけづくりができる ・調理実習を通して、親子で調理する楽しさを知り、食に興味を持つ子が増えるよう、食教育の機会を持つ	平成19年度	324(人)	平成19年度	295(人)	平成19年度	91(%)	1,032	1,578	2,610	説明(選択理由)	現状維持	説明(選択理由)	説明(選択理由)	説明(選択理由)	
		対象	6ヶ月~未就学の乳幼児、その保護者、育児に携わる人(申し込み者数)	平成21年度	362(人)	平成21年度	362(人)	平成21年度	100(%)	942	5,812	6,754	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名	子どもがのびのび心豊かに育つまち
-----	------------------

施策番号・名	08 乳幼児の健全発育への支援
--------	-----------------

基本事業番号・名	08-03 相談サービスの充実
----------	-----------------

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)								
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)						
08-03-06	保育課 保育係	対象	家庭で子育てを行っている保護者	平成21年度	4,027 (人)	事業開催数	平成21年度	24 (事業)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	608	平成21年度	41	平成21年度	649	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	育児講座等開催事業	手段	市立保育園8園で育児講座(子育てに関する講演会・講座など)を実施	平成20年度	4,133 (人)		平成20年度	24 (事業)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	539	平成20年度	40	平成20年度	579	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
				平成19年度	4,239 (人)		平成19年度	24 (事業)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	625	平成19年度	39	平成19年度	664	施設、人材、保育のノウハウなど保育所が持っている社会的資源として利用できるものを最大限利用し、費用を最小限にとどめながら効果的に事業を実施していく。	地域に開かれた保育所として、保育所の社会資源を活用した地域向け事業を着実に実施していく。その際には、保育園保護者向け、地域活動保護者向けといった枠組みではなく、一つの事業を多面的に展開して行うことに努め、現状の費用を維持していく。				
				意図	子育てに対する不安感を低減する。																	